

大月市第7次総合計画審議会 第5回議事要約

日 時 平成30年2月9日（金）午後7時から8時まで
場 所 市民会館4階 視聴覚室
出 席 者 審議会委員17名
大月市：総務部長、企画財政課長、企画財政課企画担当3名
欠 席 者 審議会委員10名

1 開会

第5回大月市第7次総合計画審議会を開催する。

2 議事

(1) 基本計画（素案）前回の変更について

【内容】

第7次総合計画の基本計画について、第4回審議会時に意見のあった部分について、変更点箇所抽出資料をもとに説明を行った。

第4回審議会時における指摘事項は、修正を行い、商工業の成果指標に具体的な金額を目標にしたかどうかの指摘があったので、事務局案として記載したが、今回、改めて内容を確認のうえ審議いただきたい。

障がい者福祉の推進において、「障がいを持つ人も持たない人も」を『障がいのある人ない人も』とすること、施策項目に「④相談・支援体制の充実」を加える意見があった旨の報告を行った。

【会長】

説明が終わったが、質疑等あるか。

なければ、商工業の振興において、第4回審議会において、目標指標の金額を載せないことで合意がなされたと理解していたが、事務局からの説明により、皆さんの理解と指標を表に載せるか議論したい。

国のデータは、2014年の次は何年であるか。

【事務局】

国のデータとして、工業統計調査は毎年実施すると聞いているが、例として記載した製造品出荷額は、工業統計調査のみでは表せない。商業統計調査は毎年実施される調査ではないので、実績値の数字がとれるのは3年毎、5年毎となる。

【会長】

目標値が現状維持という表現も疑問であるが。

【事務局】

事務局では、目標値の設定が難しいと考える。

三鷹市で現状維持という目標値設定の書き方をしていたが、5%増、10%増とは書きづらく、これでいいのか疑問である。

【委員】

指標設定することかが解らない。

【会長】

事務局としては、載せるとしたらということで記載したが。

【事務局】

実績値の数字がとれるか委員から質問があったが、表し方はこの辺が精一杯である。

【委員】

2014年しかとれないということか。

【事務局】

最新の数値は2014年である。

【委員】

推計値しか把握できないということか。推計値だけでは意味がない。

【事務局】

推計値というより、統計調査での数値である。

【委員】

他の現状値は2016年の現状値であるのに対し、製造品出荷額、年間商品販売額の現状値は2014年である。この部分だけ、現状値の年数が異なるのはいかがか。

製造品出荷額、年間商品販売額において、10年間でいくら増やすためにどういう施策を市が打っていくか。

実施計画をつくっていく中で、産業を進行させるために市としてこういう事業をしていく、こういう事業をして欲しいと総合計画の中で表現できればいいのではないか。数字に固執する必要はないのではないか。

【会長】

目標とする出荷額や販売額は、出来れば増えた方がいいことであるので、支援していくことを表現し、実施計画等において、具体的な支援を示していけばいいのではないかという意見であるが。

【委員】

そうである。

【委員】

前回、発言し提案したことが、指標として記載され、皆さんに審議していただき感謝している。

載せたい理由は、成果指標があることにより、事務事業評価を毎年実施しており、毎年検証していくわけであるが、10年先にこれだけの売上目標として、製造品出荷額や、年間商品販売額が設定されているということが、2014年はこの数字であったと表記しておき、事務事業の目標として設定することにより、出荷額の意識を持ってもらう仕事の仕方が可能になると考える。

金額が何も無いよりも、目標数字が入っていくことにより、仕事をする際に何年前はいくらであった、10年後にはいくらを目標にと注意しながら仕事ができるのではないか。現状維持でも載せておいた方がいいのではないかい。さらに、数字があることにより、他市町村の数字と比較できるのではないかい。載せる載せないについては、審議された意見に従う。

【会長】

委員の発言のとおり、総合計画は大月市の大元の計画である。その下にそれぞれ様々な部署において計画がある。実施計画の方に、より具体的な計画に具体的な数値があった方がいいのではと考えるが。

総合計画に載せるか載せないかの観点で議論したいがよろしいか。

【委員】

事務事業評価は、総合計画の目標数値を元に評価を行っていくものであり、実施計画は、実際には人の目に触れない部分である。

【事務局】

実施計画は、3年で見直すこととなっている。いわゆる市が行っている各事業を当てはめている。目に触れないのではなく、表には出てこないということである。

【委員】

第6次総合計画においても、指標が表記されているが、実施計画は見えてこないものである。大元の総合計画に載せた方がいいと考える。

【委員】

載せるならば、毎年同じような調査方法で、毎年実績値が出されるものならば構わないと思うが、数字自体が曖昧なところがある。2016年の数字が出て、1年毎に2022年まで表せるならば、載せてもと思うが、数字が出ないなら違和感がある。

【委員】

商工業だけのことを言っているのか。農林業、観光、全てのものの数字を載せることを考えているのか。

【委員】

年間商品販売額は、観光も含まれるが、農業や林業も可能であれば載せられたいが、数字が取れなければ載せられない。

出来る限り数字がとれるものは、載せた方がいいと考えているが、一番載せた方がいいと考えるのは、製造品出荷額と年間商品販売額である。

大月市で製造業は主要な産業であり、販売額の部分では、外国人観光客が訪れてお金を落としていることから、設定したいと考える。

【委員】

例えば、市で2014年の数値、2022年の数字が出せるものか。目標数値が出ないならば載せない方がいいと考える。

目標数値が出ないのであれば、載せない方がいい。

委員の中で、こうすれば数字が出るという意見があれば、載せられたい。

【事務局】

目標を設定するのは難しい現状である。

【会長】

本来、目標値を決めるには、細かい内訳が分かった上でなければ、ひとつひとつが10年後どれだけ伸ばせるかが分からなければ意味がない。

他の調査の数値であっても自分のところで加工出来ないのであれば、意味がない。目標値が現状維持では、有っても無いような目標である。

【委員】

そうである。架空の数字は、総合計画には載せられない。

【事務局】

統計調査自体は行うが、大月市独自の数値ではなく、国の調査に依存している部分である。市が何かを行って数字が変わるものではない。

【委員】

審議会において公平に判断されれば、こだわりはない。

【会長】

計画に載せてもいいのではないかという意見はあるか。

【委員】

何年か毎に国から調査がある。2014年が現状値であるが、比較ができるのではないか。次に何年に数字が出るか分からないが、何年か後に数字が出た際に、大月の状況が上がっているか、下がっているか比較が分かるようにあえて削除する必要はないのではないか。

【会長】

過去の経過を見る上で比較はできるが、総合計画に載せる意味は目標値である。

【委員】

目標値を載せても机上の空論ではないか。目標値を正確に出せる訳ではない。
少子高齢化で労働者の人口も減っていくことから、載せるのであれば、現状維持でいいのではないか。

【会長】

他にあるか。大月市の工業統計はあるか。

【委員】

商業統計調査は3年毎、農林業センサスは5年毎である。

【事務局】

国の調査は数字がすぐには固まらないことを申し添える。

【委員】

目標値ではなく、比較値でいいのではないか。

【会長】

将来の目標を達成するための施策を、総合計画には書き記すものである。
市で他にデータがあるならば、それらを閲覧すれば過去からの推移については統計書等を見ればいいのであり、計画を検証するにあたっては必要がないと考えられる。
数値として表せないものは、現状を維持すると文章に記しておけばよく、個々の実施計画で練り、振り返って検証していくこととし、成果指標を削除するがよろしいか。

【出席者】

異議なし。

【会長】

他に意見等あるか。

【委員】

現状値と目標値の数字が、一緒の数字が多い。例えば、大月短期大学の学習機会の提供において、公開講座の受講者数が現状値2014年が延べ249人から目標値が2022年に延べ250人と数字が1名増は寂しい。
子育て支援については、数字が変わっていない。人口減少と目標値の数字が変わらないことに関係があるのか、市から意見をいただきたい。

【事務局】

目標値現状維持については、人口減少を鑑みて数値を設定している。
ファミリーサポートセンターの利用回数については、現状値と目標値が変わらないが、他の施策が充実してきたことによって、利用者数が分散する現状である。例えば、学童保育が充実することで、ファミリーサポートセンターの利用回数が減ってくる。

人口減少だけでなく、他施策の充実によって少なくなってくる。減る目標では駄目なので、現状維持としているところである。

【会長】

大月短期大学の学習機会の提供において、公開講座の受講者数の目標値が250人という数字は、2016年の実態をみると延べ249人であったことから、いい数字である。20数年行っているが、テーマによって変わるが、百数十人の時もあった。2016年の現状値は高い数値であり、目標値としている延べ250人は目標としたい数値であることを申し添える。

(2) 基本計画（素案）の答申について

【内容】

審議会で結果が出されたことに伴い、基本計画（素案）について、今後、議長から市長へ答申を行う旨の説明があった。

【会長】

説明が終わったが、質疑等あるか。

【委員】

第7次総合計画というアドバルーンを上げ、総合計画をつくり実施していくのであるが、出来なかったものや推進状況を常に確認するなど、事業が進んでいるのかいないのか、誰かがチェックしていくものなのか。

【事務局】

総合計画に掲載した指標は、事務事業評価として、毎年検証し、公表していく。第6次総合計画においても同様に実施している。

第7次総合計画策定においても、第6次総合計画の指標の結果を市民会議等でまとめて報告していた経緯がある。

審議会においても、第6次総合計画の進捗状況の話しをする中で、目標としたという細かく説明ができればよかったが、今までの経過説明の報告できなかったが、検証はしている。

3 閉会

第5回大月市第7次総合計画審議会を閉会する。

答申いただいた基本計画は、庁内調整を経て決定する。

平成30年度を初年度とし、向こう10年間の長期にわたる市政の指針として、

大月市の将来像の、「ひとと自然をいかし、希望のもてる未来をみんなで実現していくまち、大月」を目指して参りたい。

長期間にわたり、協力いただいたことに感謝申し上げます。

1 開会

第5回大月市第7次総合計画審議会を開催する。